

平成29年1月25日

平成29年度東京都予算案の発表にあたって（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 高木 けい

我が党は、前回の都議会議員選挙で「東京を世界で一番の都市に」を公約に掲げて多くの都民の信託をいただきました。この目標を実現するため、会派内に政策推進総本部を立ち上げ「災害に強い安全な東京」から「魅力あふれる多摩・島しょ」まで10項目にわたって、348に及ぶ提言をまとめ平成26年12月に都議会自民党の政策提言として都知事に提出しました。

その後、この提言が東京都の各種施策に実際にどのように反映されているのか、関係各局から事業の進捗状況を継続的に聴取し、その都度必要な意見交換を行うことで提言の実現に取り組んでまいりました。その結果、昨年森記念財団による世界都市ランキングでは、長年世界第4位であった東京は、第3位へとワンランクアップしました。私たちの政策提言及びその取り組みが、着実に効果を出しはじめた証であります。

そして、昨年12月には、更なる高みを目指して、「東京を世界で一番の都市に」するため、平成29年度の都議会自民党の予算要望として、「ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの成功に向けて」から「産業と環境に対する取組」まで5つの重点項目を中心に知事に要望しました。

本日発表された平成29年度予算案は、一般歳出の総額が5兆642億円と5年ぶりの減少となる中、オリンピック・パラリンピックの競技施設等の着実な準備、災害に強い都市づくりやインフラ整備をすすめながら、事業評価を進め効率性、実効性を高め、都債発行を抑制するなど将来負担にも配慮した予算となっています。

こうした予算編成は、これまでの我が党の提言を踏まえたものですが、中でも、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの成功、安全安心な豊洲市場の着実な推進、待機児童対策、防災対策の推進などの重要課題について、引き続き、都民の与党として全力で取り組む決意です。

今回示された予算案をしっかりと検証し、来るべき第一回定例会において、必要な提言と質疑を行ってまいります。そして、29年度予算が適正かつ迅速に執行されるよう、今後も、政策推進総本部において、事業の進捗状況をしっかりと把握し、政策提言を精力的に行ってまいります。